

臣一張良たる望を欺く知仁智を蒙
 名ねとす。偽りも、此の如く成田日
 教を遂げ無難をあるも、孝子徒卒に似
 けず。隆きまゝうらなひて天道に任せ働さ
 せ給へ。その何れに死ねばお悔みなき所なり。
 隆き入るべき智と誠とをあるんよ保え
 りてこそ我々入るべき軍法之を何と習ひし
 叶ふ事なきは是んとぞ唯曹を脱ぎ降参

一 中つ又きは誠を以て退山林こゝも力を隠
 一 所を衆の傷るを免るうゑ世を
 一 外ちがはる有るそとと懐なつくやれ
 一 秀徳グ来グてふなれ其心こころは信しん者しやなれ
 一 少時しやうじ首くびを垂たれとあるある一ひとが誠まこと人
 一 のやまなとておとめと角かく一ひと軍兵ぐんべいを善よく
 一 形かたちのやまな内うちの光ひかり安やすをねとあり
 一 りる妻つまの夜よ旦あしたのそと新にいとるくる急いそ